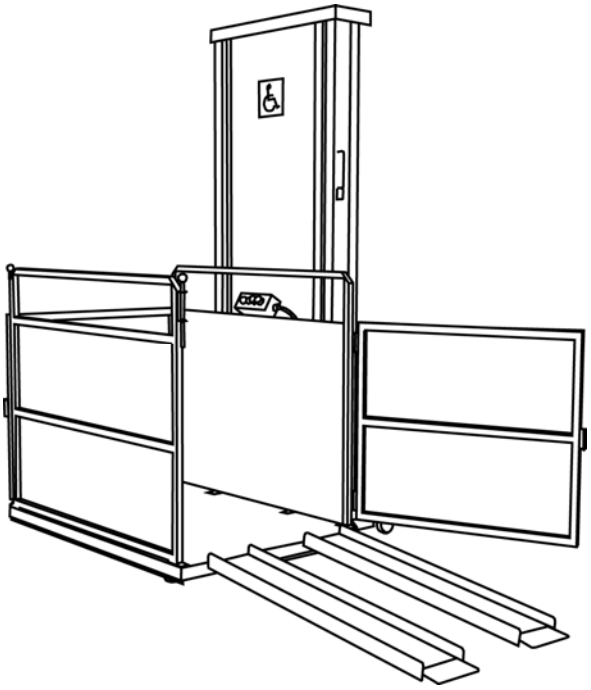
# 車椅子用段差解消機
# （キャスター付移動式）
# ＮＫＬシリーズ
# 取　扱　説　明　書




| | | |
|---|---|---|
| | もくじ | 表紙 |
| | 安全にお使いいただくために必ずお守りください | Ｐ１ |
| 取扱編 | 各部の名称 | Ｐ４ |
| | 組立後の付属品 | Ｐ５ |
| | 使用方法 | Ｐ６ |
| | オプションの使い方 | Ｐ８ |
| | 停電時降下装置の使い方 | Ｐ１１ |
| | 点検 | Ｐ１２ |
| | 保管とお手入れ | Ｐ１２ |
| | 故障かなと思ったら | Ｐ１３ |
| | 仕様 | Ｐ１４ |
| | 保証期間 | Ｐ１４ |



株式会社　コイケ

NKL-C　2014-6

# 安全上のご注意（必ずお守りください）

ご利用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください．説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために安全のメッセージを次のように使い分けてあります。

**■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

| | |
|---|---|
| ⚠ **危険** | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫生じることが想定される」内容です。 |
| ⚠ **警告** | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |
| ⚠ **注意** | この表示の欄は、「負傷を負うか可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

**■お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。（下記は画表示の一例です。）**

| | |
|---|---|
| | この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。 |
| | この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |
| | この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。 |

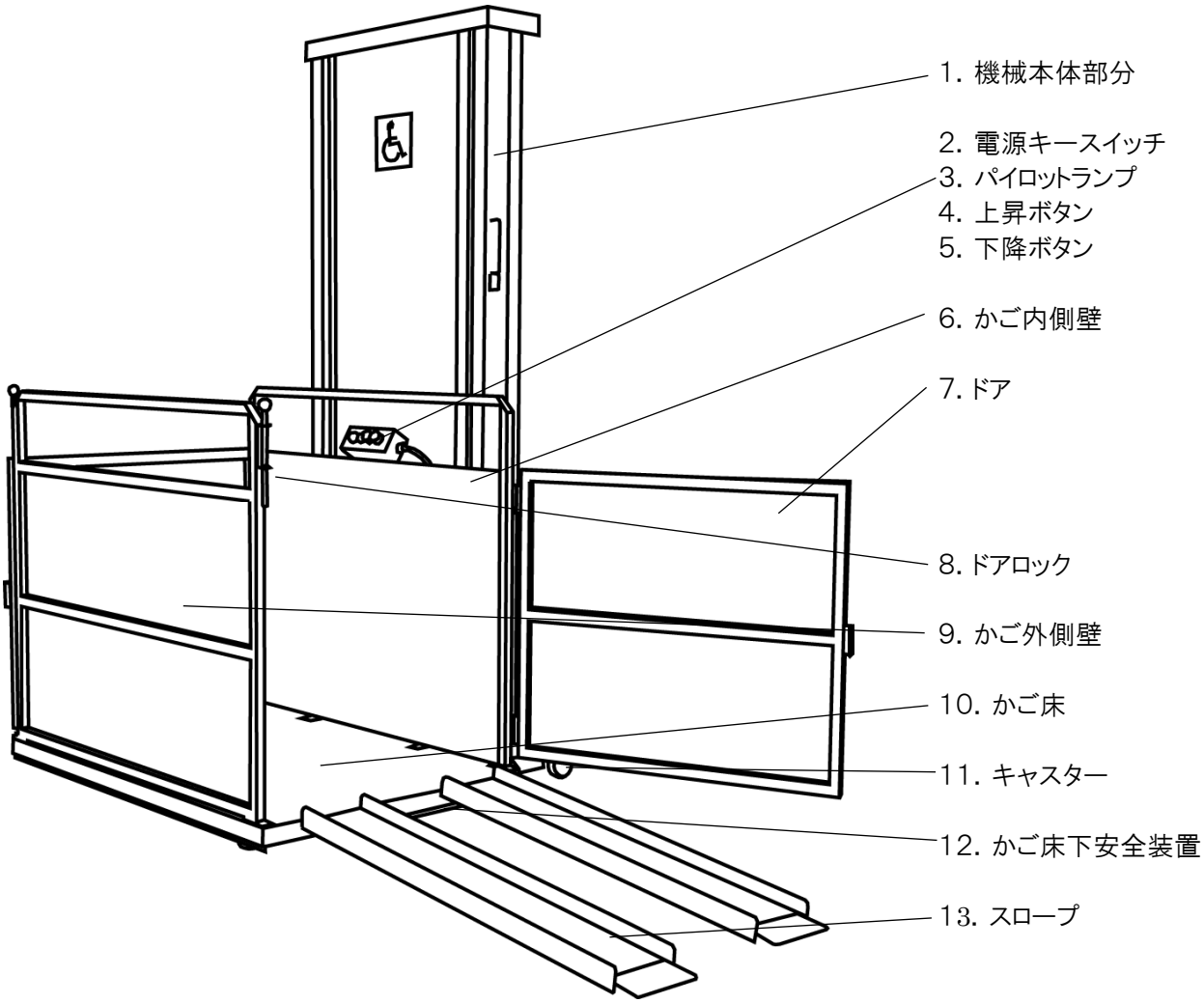
# 安全にお使いいただくために必ずお守りください

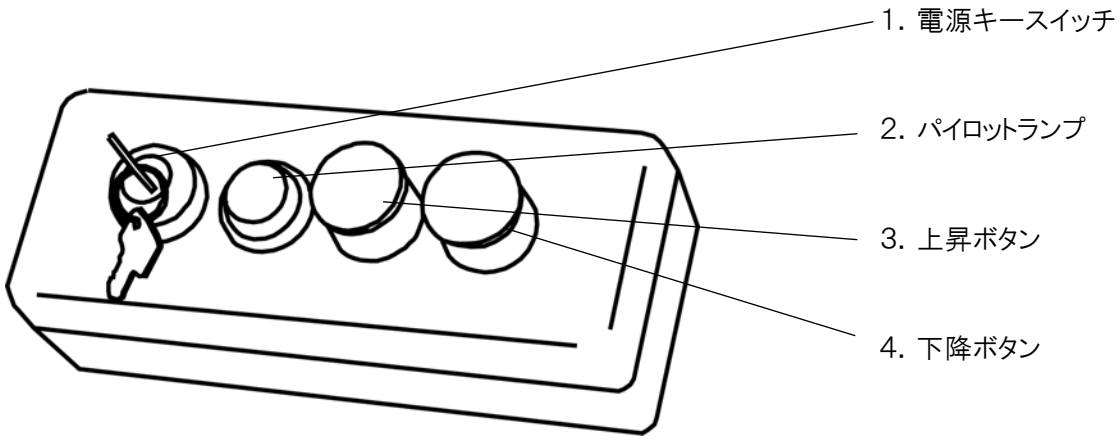
| | |
|---|---|
| | **定員は1名。**<br>定員オーバーは、故障・故障の原因にな危険です。 |
| | **最大積載重量は180kg**<br>制裁重量オーバーは事故の原因になります。 |
| | **用途について**<br>この段差解消機は、家庭介護用に製作されたものです。荷物の運搬や、台としての目的で使用しないでください。故障・事故の恐れがあります。 |
| | **落下防止用のドアが完全にロックされているか確認する**<br>落下防止ドア(オプション）のロックが完全でないと落下事故の恐れがあります。落下防止用のドアが完全にロックされているか確認の上ご使用ください。 |
| | **車いすのブレーキをかけご使用する**<br>車いすのブレーキをかけないと、落下事故の恐れがあります。車いすブレーキを完全にかけ、車いすの固定を確認の上運転を行ってください。 |
| | **周辺の安全確認を行う**<br>テーブルの下に異物・ペット・子供が入った場合、故障・事故の恐れがあります。運転の前にかならずテーブル周辺の安全を確認してください |
| | **子供を近づけない**<br>利用者、取扱者以外近づかないでください。けがの恐れがあります。子供のいたずら防止のため、ご使用後はキースイッチをはずしてください。 |
| | **運転知識のある方が運転を行う**<br>販売店の指導を受けた方、取扱説明書をお読みいただき十分理解いただいた方が運転を行ってください。安易に運転を行うと故障・事故の原因になります。 |
| | **使用しない時はキースイッチを抜く**<br>いたずら防止に必ずキーはぬいてください。 |
| | **メンテナンス・点検をする**<br>メンテナンス・点検を行わないと故障・事故の恐れがあります。メンテナンス・点検は、この説明書をお読みいただき必ず行って下さい。 |
| | **清掃、点検時は必ず電源を切る**<br>電源を入れたままで清掃を行うと感電や事故の恐れがあります。清掃の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き清掃、点検を行ってください |
| | **テーブルからの落下に注意**<br>車いすのテーブルからの落下、介護者の足の踏み外しによる落下の恐れがあります。十分注意してリフトへの昇降、運転を行ってください。 |
| | **かごのドア・遮断棒が完全にロックされているか確認する**<br>かごのドア・遮断棒のロックが完全でないと落下事故の恐れがあります。完全にロックされているか確認の上ご使用ください。 |
| | **カバーの中に手や足を入れない**<br>けが・事故の原因の原因になります。特にお子様には十分注意を行ってください。 |

# 安全にお使いいただくために必ずお守りください

| | |
|---|---|
| ⚠ | **危険が考えられる場合は、使用を中止し販売店・メーカーに連絡する**<br>車椅子の形状・メンテナンス状況により危険と思われた場合は、すぐにご使用を中止し、販売店・メーカーにお問い合わせください。そのままでご使用になると、事故の恐れが有ります。 |
| ⚠ | **介護者も十分注意する。**<br>介護者もリフトへの移動・運転時足元の注意を怠ると事故の恐れがあります。介護者自身のけがにも十分注意してください。 |
| ❗ | **機器周辺の安全確認を行った上で運転を行う。**<br>テーブルの下に異物・ペット・子供が入った場合、故障・事故の恐れがあります。運転の前にかならずテーブル周辺の安全を確認してください。 |
| ⚠ | **作業・運転は、油断しないで十分注意する**<br>取り扱い方法、作業方法、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。常識を働かせてください軽率な行動をすると事故やけがの恐れがあります。 |
| ⚠ | **操作スイッチのコードの挟み込みに注意してください。**<br>操作スイッチのコードが機械の隙間などにかかった状態での運転はしないで下さい。コードの断線や感電等の事故・故障の恐れがあります。 |
| ⚠ | **保管は鍵を抜いた状態で**<br>保管時に電源が入っているといたずら等、事故の恐れがあります。使用にならない時は、電源の鍵を抜いてください。 |
| ⚠ | **メンテナンス・点検をする。**<br>メンテナンス・点検を行わないと故障・事故の恐れがあります。メンテナンス・点検は、この説明書をお読みいただき必ず行って下さい。 |
| ⚠ | **ホースで直接水をかけないでください。**<br>清掃の時などホースで直接水をかけないでください。感電・故障の恐れがあります。 |
| ⚠ | **手､足はさみに注意**<br>稼動部分に体の一部(指・手・足）・服などが入らないよう十分注意してください。なおテーブル下部の安全装置は、足はさみ防止用に縁部分のみに付いています。テーブル下中央部分では働きません |
| ❗<br>強制 | **テーブルからの落下に注意してください。**<br>車いすのテーブルからの落下、介護者の足の踏み外しによる落下の恐れがあります。十分注意してリフトへの昇降、運転を行ってください。 |
| ⚠ | **運搬・設置時のケガに注意。**<br>移動時・設置時手や足を挟むなどのケガの危険があります。十分注意して移動・設置を行ってください。 |
| ⚠ | **保管場所、管理に気を付けてください。**<br>保管場所の不備、保管管理が十分でないと、けが・事故の恐れがあります。子供のいたずらなどを十分に考慮し保管・管理を行ってください。 |
| ⚠ | **運転は、動かないように固定してから。**<br>機器の固定が不十分だと使用中に動いて、けが・事故の恐れがあります。キャスターストッパー、固定アジャスターなどで固定し動かないことを確認して運転を行ってください。 |
| | |

# 各部の名称


1. 機械本体部分
2. 電源キースイッチ
3. パイロットランプ
4. 上昇ボタン
5. 下降ボタン
6. かご内側壁
7. ドア
8. ドアロック
9. かご外側壁
10. かご床
11. キャスター
12. かご床下安全装置
13. スロープ


1. 電源キースイッチ
2. パイロットランプ
3. 上昇ボタン
4. 下降ボタン

# 組立後の付属品

組み立て後の標準付属品は以下の通りです。このほかのオプション部品は、オプションの説明をお読みください。

| | 付属品 | 個数 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 1 | 取扱説明書 | 1冊 | 本書 |
| 2 | 組立説明書 | 1冊 | |
| 3 | 保証書 | 1枚 | |
| 4 | ヒューズ(8A) | 1本 | ガラス管ヒューズφ6.4×30㎜ 8A 予備ヒューズ |
| 5 | | | |
| 6 | | | |

# 使用方法

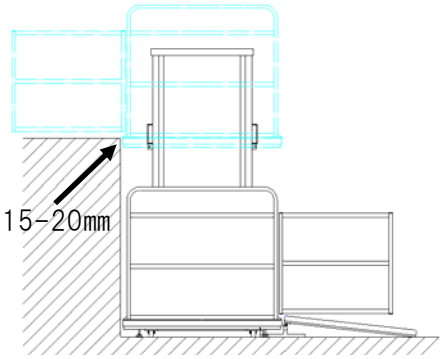
機種により仕様が異なる場合がございますので、「使用方法」とあわせて「オプション」もお読み下さい。

## ■機器の移動

①周辺、運搬路に所に障害物・危険がないか確認してください。

②キャスターストッパー、固定アジャスターを外し運搬を行います

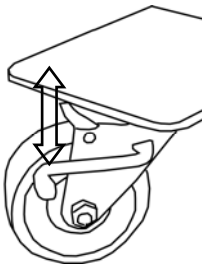
> ⚠ 警告
> 機械の移動時、手や足をはさむケガ・事故の恐れがあります。機器は重量がありますので十分注意して運搬を行ってください。



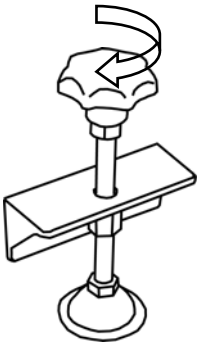

## ■機器の固定

①所定の位置に運搬します。
通常、ステージ端面より15-20㎜隙間を開けた場所とします。

②キャスターストッパー、固定アジャスターで固定を行い、動かないことを確認します。固定アジャスターは必要以上に津陽区固定しないでください。あまり回し過ぎるとキャスターが浮き不安定になります。



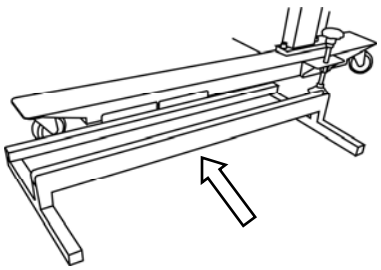
③電源コンセントにプラグを差し込みます。延長コード、コードリール使用の際は電源電圧降下で機器が動作しない場合があります。できる限り延長コードを短くして電圧降下を防いでください。



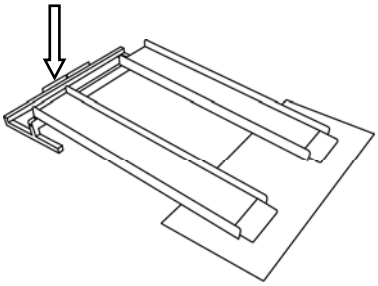
④スロープを設置します
試験運転(運転のページをご参照ください)を行い位置・安全の確認を行ってください。

## ■スロープの設置

①簡易固定標準スロープの場合
スロープ台をベースフレームに当たる場所に置きます。場合によりネジで固定を行います。(トラス+M5×15)



②アルミスロープの引っかけ部分をスロープ台の溝にセットします。幅は車椅子の大きさに合わせます。
アルミスロープの端で床が傷つくことがありますので、あらかじめゴムマットや、ベニヤ板などを敷くことをお勧めします。



# 使用方法

## ■段差解消機の運転

①電源キースイッチをオンにします。
　電源ランプが点灯します。（3秒ほど時間がかかります。）

②ドアを開けて、通常前から真っ直ぐにかごに乗り込みます。

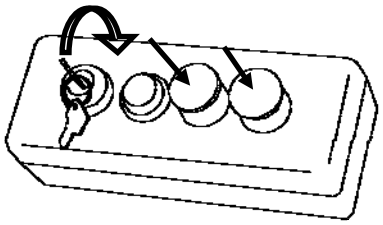
③車椅子のブレーキをかけ、動かないことを確認します。

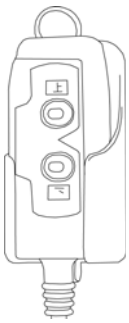
③ドアを閉めてドアをロックします。
　ドアを閉めないと運転できません。

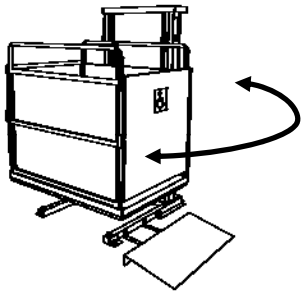
④上昇ボタンを押すと上昇します。
　ボタンは押し続けてください。放すと止まります。
　押したままにすると、設置の時設定した高さに止まります。
　ペンダントスイッチでも操作可能です。

⑤上昇が停止したら上階側ドアを開けます。

⑥かごから前進して降ります。

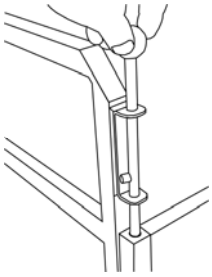






## ■降下の方法

①上記リフトへの乗り込みから降りるまでの逆の手順で行ないます。
操作スイッチの下降ボタンを押し続けます。
放すと止まります。
押したままにすると下まで降りて自動的に止まります。
通常下降時にかごに後ろ向きで入ります。

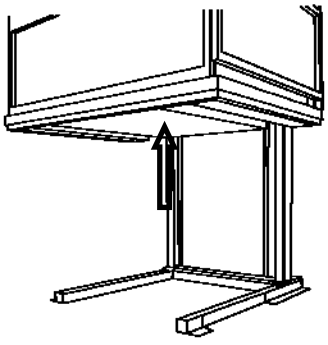


## ■ご使用後は

①ご使用後は、キースイッチを抜いてください

## ■下降安全装置について

①かご下降時の安全装置は図のようにかご下部分全面に付いています。この部分に物が当たると下降を停止します。



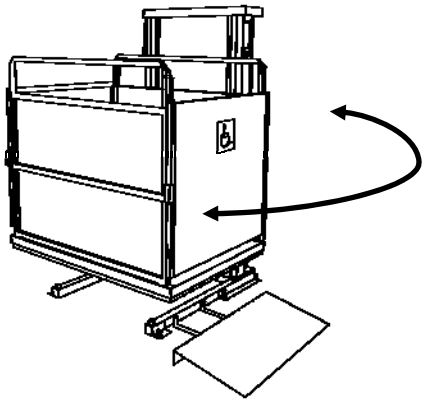


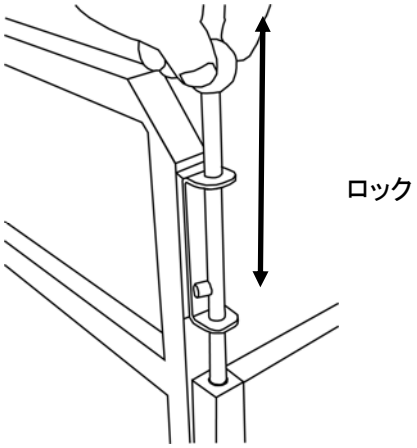
**注意**
操作スイッチの

# オプションの使い方

## ■かごドア

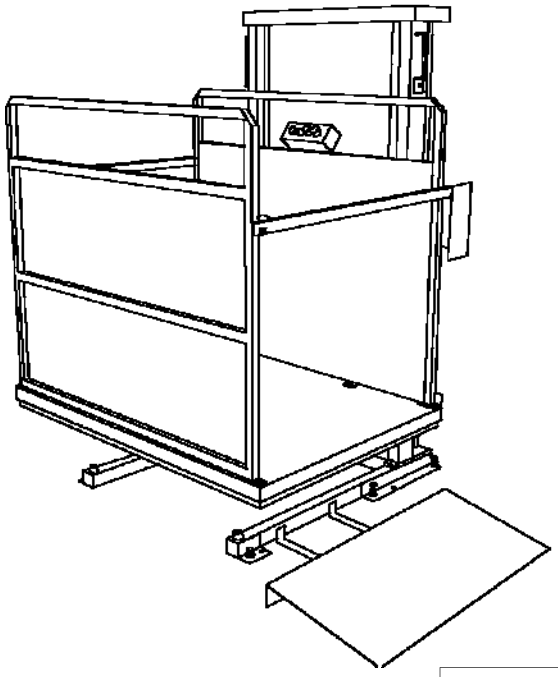
かごからの落下防止用です。運転中必ずドアを閉めろロックをかけてご使用ください。ドアが閉まっていない場合は運転できません。

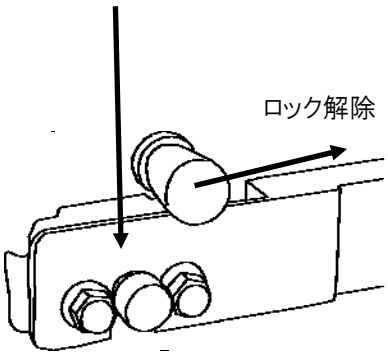





## ■かご遮断棒

かごからの落下防止用です。運転中は必ず遮断棒を閉めろロックをかけてご使用ください。遮断棒が閉まっていない場合電源ランプが点滅し運転できません。






**⚠ 警告**

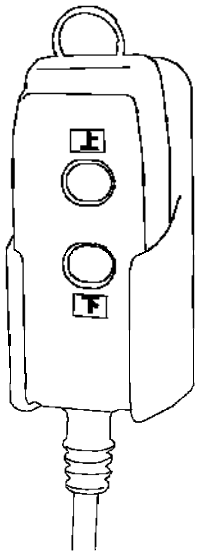
ドアのロックが不十分で確認を怠ると事故の恐れがあります。必ず完全にドア・遮断棒が閉まっていてロックされていることを確認の上ご使用ください。

# オプションの使い方

## ■追加スイッチ

### ①ペンダントスイッチ

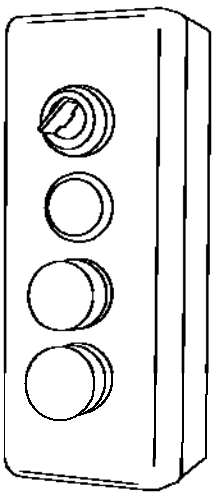
コード付防雨型ペンダントスイッチで自由に位置で操作が可能です。
押し続けて運転を行います。




**⚠ 注意**
配線コードを稼働中のかごに引っかけたり、引っ張ったりしないで下さい。故障の原因になります。

### ②呼び送りスイッチ

防雨タイプの壁固定ボックス型のスイッチ。キースイッチとパイロットランプ付。
ボタンを押し続けると運転します。
設置時の仕様（3路回路タイプ-呼び送りスイッチを上下階に設置した場合）により1つのキーで上下階で入切が可能。

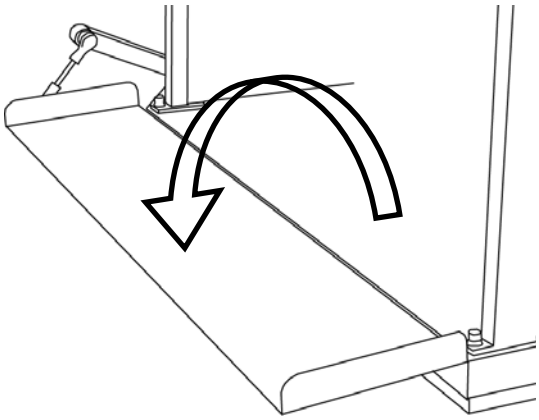


**⚠ 注意**
配線コードが機械わきにて出ていますので干渉物に引っかけたり、引っ張ったりしないで下さい。故障の原因になります。

# オプションの使い方

## ■渡り板

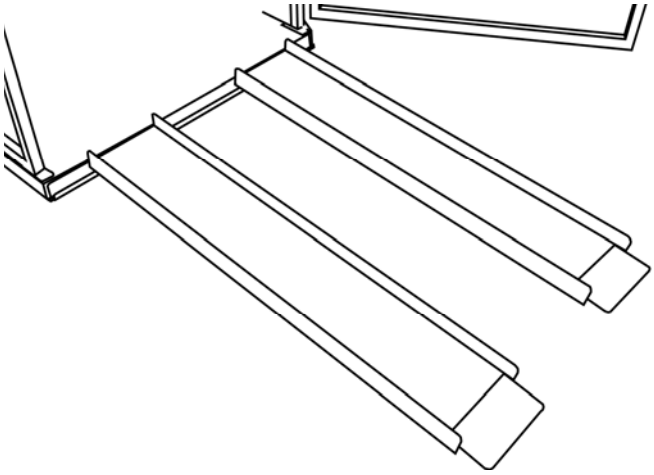
上階とかごの隙間が大きな時に使用するもので自動開閉します。



## ■取外し式スロープ

取り付け取り外しが可能なスロープで、標準のスロープでは、角度が急な時や、スロープを置くスペースが常時取れない場合などに使用します。

テーブルに乗る際、テーブル縁の金具にスロープを引っかけます。幅は約65cm～75mぐらいです。必要に応じて取り付け位置にテープやマジックで位置をマーキングするとより便利です。リフトを運転する際は必ずスロープをはずして、運転を行って下さい。



**⚠注意**
スロープを取り外さないで運転を行うとスロープが引っかかるなどして事故故障の恐れがあります。運転時は必ずスロープを取り外してください。

**⚠注意**
スロープを使ってのかごへの昇降の際、介護者がスロープに足をぶつけるなどしてけがの恐れがあります。介護者も注意して昇降を行ってください。

**⚠警告**
スロープの取付けが適切でないと、かごに乗り込みの際、事故の恐れがあります。確実にセットされているか、幅が適切であるか確認の上昇降を行ってください。

## ■その他のオプション

上記以外のオプションを、取り付けた場合にはオプション付属の取扱説明書・資料をご参照ください。

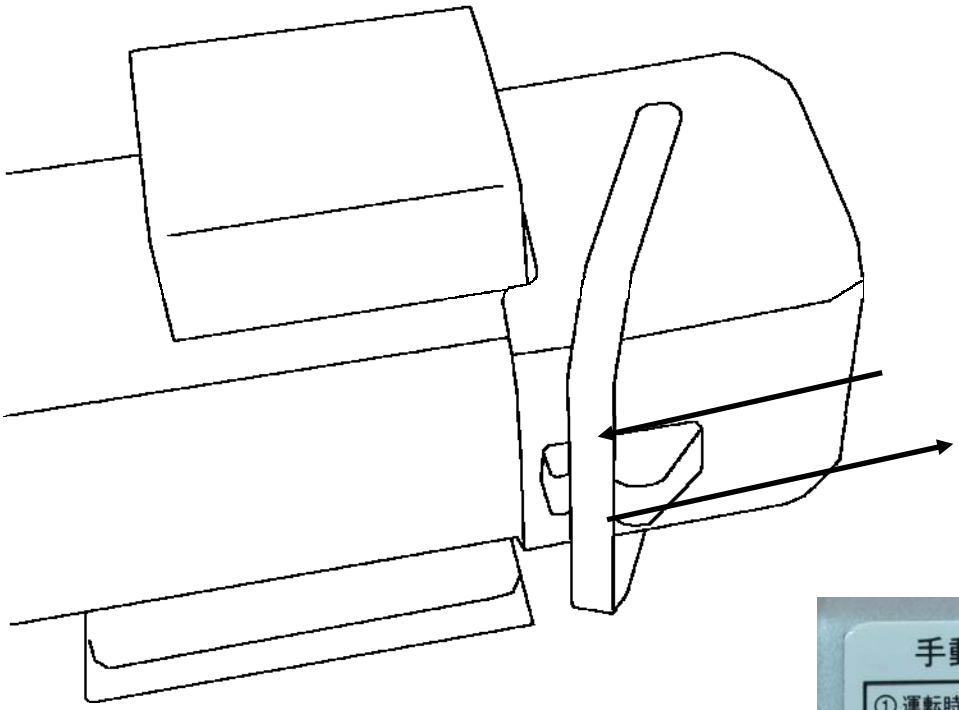
# 停電時降下装置の使い方

## ■停電降下装置(オプション)

運転中に停電になった場合、かごを手動で降下させることが出来ます。(上昇させることは出来ません)

**使い方**

1. コンセントから電源プラグをはずした状態にします。
2. 本体背面のゴムグロメットを外します。
3. モーターのブレーキ解除ハンドルを操作してブレーキを解除します。→かごが降下します。
   ハンドルを開放位置にしているときのみ降下します。
   戻すと止まりますので繰り返しで降下させてください。
   車椅子を降ろせる高さになったら車椅子をかごから降ろしてください。
4. 使用後は、ゴムストッパーに当たってそれ以上戻らない状態にハンドルを戻してください。



**⚠ 危険**
装置の使用方法の理解が不十分であったり、誤った操作を行うと重大な事故の原因になります。ご不明な点はメーカー・販売店にお問い合わせください。

**⚠ 危険**
停電手動降下装置は、停電時のみ使用するものでその他のときには使用しないでくださ。停電時以外でのご使用は、故障事故の原因になります。

**⚠ 危険**
停電手動降下装置のハンドルが完全に戻っていない状態で運転を行うとブレーキがかからずかごが降下する恐れがあり危険ます。

**⚠ 危険**
停電手動降下装置操作中は、事故の可能性がありますので、かごの下やかごの近くに人や物がないことを確認の上ご使用ください。

# ご使用前の点検

ご利用の前には、必ず次の点検を行ってください。

①テーブル下にゴミや木の葉などが入り込んでいないか確認する。
　ゴミや木の葉などが入り込んでいる場合清掃してください。
②ねじ等の緩みガタがないか確認する。
　緩みがあるようであれば増し締めを行うか販売店・メーカーに連絡する。
③リフトを上下させスムーズに動くか確認する。
④フレームにさびや劣化が起きていないか確認する。

# 定期点検

販売店・メーカーの定期点検をお勧めします。1年に一度程度の点検で安心して機器をご利用いただけます。

# 保管とお手入れ

## ■保管

①ご使用にならない時は、キースイッチの鍵をぬいて、ビニールカバー(オプションでもご用意)を付け保管してください。
②長期間(1ヶ月以上)ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから外してください。

**⚠ 警告**
機械の腐蝕が大きいと故障・事故の恐れがあります。腐食がひどい時は、ご使用を中止して下さい。よくわからない場合は、販売店にお問い合わせ下さい。

## ■お手入れ

①カバーなど汚れは、シンナーなどをつかわずに家庭用中性洗剤を使って、ぞうきんなどでふき取って下さい。また清掃の際、ホースで直接水をかけないで下さい。
②ベースフレーム、本体、テーブルフレームにさびが出るようでしたらペンキ等で塗っていただくと長持ちします。
③1ヶ月に一度アースと電源コンセントの差し込みを確認してください。
④1ヶ月に一度ベース、本体、テーブルのさびの点検をおこなってください。あまりさびが、ひどくなっているようでしたら、ご使用を中止し、販売店メーカーにお問い合わせください。

# 故障かなと思ったら

## ■故障かなと思ったら

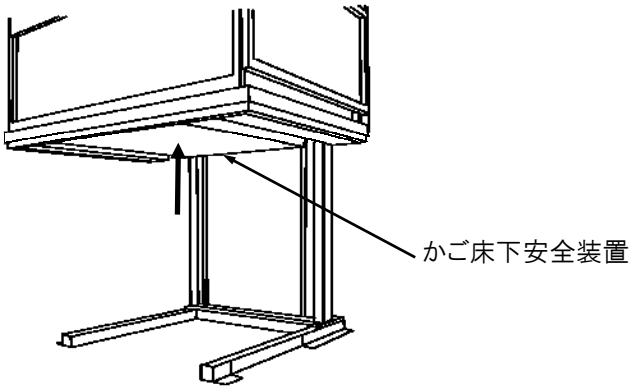
機械が動かなかったり動きがおかしい時以下の部分をもう一度確認してください。

**症状1. キースイッチを入れても電源ランプが点灯しない。**（機械まで電気が来ていない）

対策1. 電源コンセントが差し込まれていますか
対策2. 漏電ブレーカーが作動していませんか
対策3. 電源コンセントまで確実に電気がきていますか
対策4. ヒューズが切れていませんか
機械内部のヒューズが切れている場合があります。ヒューズは操作スイッチボックスの中にあります
付属のヒューズ(ガラス管ヒューズ6.4×30　8A)と交換してください。

**症状3. 電源ランプが点滅しているが運転できない。。**

対策1. かごドア・遮断棒が閉じていない。
かごのドアや遮断棒が閉まっていないと運転できません。
閉じているか確認します。
対策2. かご下安全装置が作動している
かごの上昇は可能ですが、下降しません。かご下の状態を確認してください。
安全装置を下から押して動作を確認してください。
ごみや発泡スチロールなどが安全装置を押していませんか？
対策1. チェーン破断・緩みが出ている
機械内部の安全装置が働き、全動作が停止します。復帰には電源を入れなおしてください。
電源を入れ直しても運転できないときは、販売店・メーカーにご連絡ください。




**⚠ 重要**
通常の運転でヒューズが切れることはほとんどありませんが、大きな負荷がかかった場合や、機械内部のショートが考えられます。交換してまた切れるような場合は、ご使用を直ちに中止して販売店・メーカーにご相談ください。

# 仕様

| 型式 | NKL1000 | ＮＫＬ1500 | ＮＫＬ2000 |
|---|---|---|---|
| テーブル最高位 | 1100㎜ | 1600㎜ | 2000㎜ |
| テーブル最低位 | 75㎜ | 75㎜ | 75㎜ |
| ストローク | 1025㎜ | 1525㎜ | 1925㎜ |
| 最大積載荷重 | 180㎏ | 180㎏ | 180㎏ |
| かご寸法 | 1150×800㎜ | 1150×800㎜ | 1150×800㎜ |
| 駆動機構 | チェーン巻上式 | チェーン巻上式 | チェーン巻上式 |
| 昇降スピード | 約2100㎜／分<br>約2500㎜／分<br>（50/60Hz） | 約2100㎜／分<br>約2500㎜／分<br>（50/60Hz） | 約2100㎜／分<br>約2500㎜／分<br>（50/60Hz） |
| 主な材質 | スチール | スチール | スチール |
| 電源消費電力 | 100ｖ50/60Hz370W | 100ｖ50/60Hz370W | 100ｖ50/60Hz370W |
| 安全装置 | 電源キースイッチ<br>かご下面安全リミット<br>チェーン切断検知装置<br>操作電圧24ｖ<br>ドア開閉検知<br>遮断機開閉検知 | 電源キースイッチ<br>かご下面安全リミット<br>チェーン切断検知装置<br>操作電圧24ｖ<br>ドア開閉検知<br>遮断機開閉検知 | 電源キースイッチ<br>かご下面安全リミット<br>チェーン切断検知装置<br>操作電圧24ｖ<br>ドア開閉検知<br>遮断機開閉検知 |
| オプション | キャスター仕様<br>遮断機上階下階<br>ドア上階下階<br>固定スロープ<br>開閉スロープ<br>取外し式スロープ<br>自動開閉渡し板<br>非常停止ボタン<br>ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄｽｲｯﾁ<br>停電時降下ﾊﾝﾄﾞﾙ | キャスター仕様<br>遮断機上階下階<br>ドア上階下階<br>固定スロープ<br>開閉スロープ<br>取外し式スロープ<br>自動開閉渡し板<br>非常停止ボタン<br>ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄｽｲｯﾁ<br>停電時降下ﾊﾝﾄﾞﾙ | キャスター仕様<br>遮断機上階下階<br>ドア上階下階<br>固定スロープ<br>開閉スロープ<br>取外し式スロープ<br>自動開閉渡し板<br>非常停止ボタン<br>ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄｽｲｯﾁ<br>停電時降下ﾊﾝﾄﾞﾙ |

# 保証期間

**■保証期間**

お買上日から1年間
保証期間中は、保証書の記載内容により修理致します。
保証期間がすぎている場合は、ご希望により有償で修理を行います。

詳しくは、販売店またメーカーにお問い合わせください。

なお、ご不明な点がございましたら下記にお問い合わせください。

株式会社コイケ

〒254神奈川県平塚市四之宮4丁目21-77
電話　0463-22-1217
ﾌｧｸｽ　0463-21-5883